

南海医療センター附属介護老人保健施設
施設長 森本 章生



新年あけましておめでとうございます。

令和4年2月に始まったロシアとウクライナの戦争や、隣国からの何十発ものミサイル発射はいまだに続いており、さらにハマスとイスラエルの間の戦争が始まり、ニュースでの報道が絶えない日々です。昨年も書きましたが、世界がどのような方向に進んでいくのか先行きが心配になります。このような情勢の中で、日本にはしっかりとした対応をとってほしいのですが、主力政党の政治資金問題が勃発し国民の支持も危うくなり、対外的な対応どころではないような気がします。

さて明るい話題としては、WBC(ワールド・ベースボール・クラシック)で日本が優勝したこと、皆さんもテレビ観戦したのではないかと思います。それに続き大谷翔平選手がアメリカメジャーリーグで投手・打者の二刀流で活躍し、年間ホームラン王になった快挙にはほんとに感動しました。また昨年10代初の五冠達成をした藤井聡太棋士による、“前人未到の八冠達成”には圧巻という言葉しかないと思いました。今年も日本人が様々な場面で活躍してくれることを期待したいものです。

新型コロナウイルス感染症が始まって約4年が経過し、昨年5月には“5類感染症”に分類が下げられました。しかしウイルス自体が変わったわけではなく、高齢者にとっては引き続き脅威と考えており、感染対策をしっかりと実行していく所存ですので、ご理解後協力のほどお願いいたします。本年も南海老健をよろしくお祈り申し上げます。

副施設長 小野 宏



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年中は、当施設へのご支援とご厚情を賜り厚く御礼を申し上げます。昨年は新型コロナウイルスが5類感染症に移行され、世間ではコロナ禍前の日常に戻りつつある年でした。ただ感染力の強いウイルスに変わりなく、医療機関及び高齢者施設では感染防止のためマスク着用、面会制限をせざるを得ない状況が現在も続いております。ご不便とご迷惑をお掛けし大変申し訳なく思っております。そんな中でも、昨年の出来事で感動したことは、WBCで世界に輝いた侍ジャパン、憧れを超えた侍たちの活躍です。日本中を感動の渦に巻き込んだドラマティックな大会で強心に残っています。中でも大谷選手の活躍は野球界の伝説です。さて、今年は20年ぶりに新紙幣が発行されるそうです。一万円札の顔として長く親しまれてきた大分県にゆかりのある福沢諭吉先生ともお別れです。新しい顔には、「日本資本主義の父」と称された渋沢栄一さんだそうです。仲良くなりたいですね。新しい年を迎え、皆様の益々のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。本年も南海老健をどうぞ宜しくお願い致します。

リハビリテーション室 室長
理学療法士 富松 満代



新年明けましておめでとうございます。昨年は格別のご愛顧賜り厚くお礼申し上げます。これまで皆様と共に長年、健康・運動・リハビリについて探究し共に過ごさせて頂きました。振り返ると専門職としての知識を提供し運動指導を繰り返す日々だったようで、逆に皆様から教えて頂いたことがどれほど多かったか思い返されます。戦後の様子、産業、教育、文化...多方面にわたり教わって参りました。100歳を迎える方が珍しくなくなったこの頃感じる事は「人の身体はどれだけよく出来ているか?」ということ。関節・筋肉・目・耳・血管・皮膚...どこをとっても100年も使えるとは。しかし一方で当然100年も使えば弱る側面があり、様々な苦悩に悩まされます。これは若者においてもあり得ること、他人事ではありません。今年もまた皆様と共に、スタッフ一同‘身体’や‘心’と向き合い、切磋琢磨させて頂きたいと思っております。今年もどうぞよろしくお願い致します。

南海居宅介護支援センター
管理者 古川 武志



謹んで初春のお慶びを申し上げます。ここ数年、新型コロナウイルスによる影響にて、利用する介護サービスが制限されたり、一時的にサービスを変更したりと利用者やご家族の皆様におかれましては不安も強く、身体的・精神的な負担も大きかったことと思います。昨年は、新型コロナウイルスの5類移行に伴い、徐々に日常生活も本来の形に戻ってきたと感じ、改めて住み慣れた自宅で生活する上で介護保険サービスの大切さを実感する一年となりました。今年は、介護報酬改定にて介護人材の確保や医療と介護の連携を強化する事が焦点になると思われます。当居宅介護支援センターにおきましても干支の辰にあやかり飛躍の年となり、皆様に信頼される事業所を目指し努めて参りますので、本年もどうぞよろしくお願い致します。

看護師長 岩木 秀美



新年あけましておめでとうございます。昨年は施設運営にご協力を賜りましてありがとうございました。2024年は甲と辰が合わさる辰年です。大きな出来事が起こると予想すると共に、これまでの努力が実って夢が叶いやすい年ともいえます。なかには成果につながらないこともあるかもしれませんが努力を続ければ水面下で着実に育ち、次につながる年になると考えられています。コロナ禍で培った知識や技術、リモートの活用、感染症対策など苦しい日々の中で生まれた新たな工夫や成果。それらの「新しい芽」を活用し、今まで以上に看護・介護を発展させていけるような年にしたいと考えています。職員一同、利用者様、ご家族様に寄り添い、より良い施設生活を支援できるように努力してまいります。本年も皆様のご健勝でご多幸でありますよう、心からお祈り申し上げます。

管理係長 簀戸 志穂



新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年5月に新型コロナウイルス感染症は、5類に移行し落ち着きを取り戻したのもつかのま、第8波やインフルエンザの感染も増加し、いまだ面会緩和にいたらず、顔が見れない中でご理解とご協力いただき心より感謝申し上げます。またサービス利用者様及びご家族様にもご協力いただき誠にありがとうございます。今年は「辰年」です。辰年は陽の気が動いて万物が振動するので活力旺盛になって大きく成長し、形がととのう年だといわれています。昨年11月に電子カルテの導入を行いました。電子カルテによって多職種スタッフや病院との情報共有もでき、ご利用様が安心して過ごせるようとのえてまいります。2024年が皆様にとって、幸多き一年でありますことを心よりご祈念申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

主任介護福祉士 宮脇 功児



新年あけましておめでとうございます。2024年皆様はどのように迎えられたでしょうか？昨年も色々な事があった一年でした。年始よりコロナ感染拡大により、御家族の方へ多くの心配、不安をお掛けしました。病院職員の方、全職員の協力により乗り越えた一年の始まりでした。その後、コロナ感染症も第5類になり、少しずつですが以前の生活を取り戻しつつあります。当施設におきましても、5月よりブース面会が開始となり、御家族様と会い涙を流され喜ばれている入所者様を拝見し、改めて御家族様の大切さ、普通の生活の有難さを感じました。今後行事や活動の制限は続きますが、入所者様が安心して笑顔で穏やかに過ごせる様、職員一同で努めてまいります。本年も皆様のご健康でご多忙でありますように、心からお祈り申し上げます。